夕刊　磐城新聞
二月二十二日發行
定價　一部金五錢　一ケ月金六拾錢（郵税拾五錢）
廣告料金　普通欄金六拾錢　雜報欄金九拾錢（五號十二字詰一行一回）（場所指定一行金貳拾錢增）
編輯印刷兼發行人　柏木哲
福島縣石城郡平町田町十六番地
發行所　磐城新聞合資會社
登錄交信電略（タイラ・イワキ）平局私書函第十二號　電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇八五六五番

市制に就いて

神野銀四郎

下

商業取引だつて、はた！て幾許の利益がある事か、吾等は先づ、平窪開發に多大の負擔をする事も考へなければならない。むくはれる處小にして大なる負擔！なると吾々町民は全町民の二三割にも當るかどうかの一部利益者のために犧牲にせらるる事になる

○

平窪村合併に依つて要せんとする諸經費を平町充實の爲めに用ひるとすれば近き將來に立派に獨力で大市の實現が見られるはづだ吾々には何の爲めに無理！てまで市制を急ぐのか、さつぱり分からない。平町市内にまた一雨降ると道路に下水が氾濫する個所や、塵芥運搬のされない處、側溝工事も出來ず下水が道路を流れて居る處なぞは數へ切れぬ程に有るのだ。一体平町民は町當局や町議諸公が熱を上げて居る程に市制の急を見止めて居るだろうか一人一人に當つたなら案外迷惑に考へてゐる者が多い事に成るかも知れない。猶一町民は平町から如何なる合併條件を持つて行つたかさへ知らないのだ

○

平窪青年團があの平窪村に取つて有利な條件を示されながらも平町の財政其他から將來のため熱烈に反對運動を起してゐる。平青年團は、どうしたのか。まさか青年團は修養團体だなどとお高く止つて居るのでもあるまい。少くとも平町將來に關する重大問題なのだ充分な關心を持つてもらひたいと思ふ。幾年かの昔、大瀧發電所問題の起つた時は、その中心勢力は青年團だつた。青年團が動く事になれば町當局や町議諸公にお氣の毒な結果に成つてけと、本團幹部がお考への上知らぬふりして知られるのなら又別だが修養部の主催で研究討論會でも開催せられては如何

すみれ

石原蕗繪

濃みどりの
樹蔭のもとに生ひいでし
一本の小さき　花すみれ
むらさきの天鵞絨のごと
ふか／＼と
香りをたかし
去年の春　逝きにし人の
面影みえて……
人には告げす
今日も又一人ながめぬ

今日の訓へ

哲名　山人

感性による直觀を以つてするは、藝術である、悟性による概念をとり扱ふものは科學である。故にロダンは藝術の妙境を述べて『見ることよ、眞に見ることよ！』と、又、バートランド、ラッセルは數理の妙を謂えて『知ることよ、眞に知ることよ』と云つてゐる

冬日游原釜

珠雲　小野務

雪餘畦履倚長橋
刻地尖風吠暮潮
盛夏繁華今不見
漁家蜑舍一蕭寥

2月23日

△滿洲國皇帝陛下の御誕辰（萬壽節）△平清盛經文を嚴島神社に納む（仁安二）△『漢委奴國王之印』とある黄金の印を筑前志賀島で掘出す（天明四）△織田信長安土城に移る（天正四）△ムッソリーニ世界大戰中に負傷を負ふ（一、九一七）

冬の炭山貯炭場の風景

好間　明智金鈴子

このあしたたとめら雪を貨車押せり
焚火つぎ貨車待つ夜は北風凪けり
おとめらに冷えゆく夜の貨車入りぬ
焚火して貨車待ち更かす夜々に慣る
夜をふかく焚火たけらし貨車を待つ

奥箕輪早春

伊藤寒山子

雜木山淡雪ひそめ小田に照る
雪消すや杉伐採の唄ながれ
畦ふめば芹むらさきの土こぼれ
薄氷を搖りてうろくづ倉かげに
驛路の溜はほそ／＼と野梅咲く

破魔弓に就いて

橋本生

四

はまを轉すことは、射手の中より、かはるがはる出てまろばすなり、是をはまを射るといふ、また大和國吉野郡上市村の人の物語にも、大和にてはまをいる事右の如し、大和にてははまころをいるといふ。はまころとははまをころばすといふことなるべし、土佐の人大和の人のいふ所同じ趣なり、然れば、はまは的の名なり、破魔にはあらずかし！』

貞丈雜記に『昔は何國にても此たはふれ有しなるべし、後に他國には右の射方のたはぶれ絕て、ただ弓矢ばかりある故はま弓といふ名のわけ知れぬ事になりたり、はま弓とははまといふ的を射る故の名なり……ある人の語りしは、播州一谷二谷の邊をとほりしに田をうゆる女どもあまた藁の圓座を腮につけたり、そのうちに一人圓座をこしに付さる女ありしをほかの女見てそれはまがなきことよといひけり、これを見れば圓座の事をはまといふと見えたり、……はま弓の的のはまに似たる故、はまといへるなるべし』などとある。

その他にも、文獻はあるが兎も角之等の諸文獻に依つて大略は承知し得るもので破魔弓、實は『はま弓』は『はま』と云ふ的とそれを射る弓の稱であつたのが、遊戯を離れた際に單なる童玩の弓矢を『はま弓』と稱する樣になり、更らに童玩を超越して緣起をかつぐに至つて『破魔弓』と云はれるやうになつた事が明白である

現在諸地方に未だにこの『はま』と云ふ言葉が殘つてゐるかどうかはにはかに說定し難いが、『はま弓』の因由はこれ等に依つて理解し得られる譯である

尙多くの語例、若しくは地方に因る異語例等を拾集した上でなければ科學的な論斷を行ふ事は不可能である故、これ以上は今後の研究にまたなければならない

（完）

講談　妖刀流轉（ようとうるてん）

(19)　邑井貞吉演　佐々木今朝吉畫

權次の最期（十一）

そ『いつは何よりだ、俺もこんな嬉しいことはない』

女『だからお父さん、私がお女郎上りと笑はれないやうに、いろいろ敎へて後見をして呉れなくては駄目よいろ／＼まだ相談があるから、こゝの所は毎日廻つて來ておくれ』

その日は了念も喜んで歸るその翌る日

女『ねえお父さん』

了『何だね』

女『いよ／＼身受けの日も近くなつたが、ここに私困つた事が出來たんだよ』

了『困る事は何にもなからうぢやないか』

女『いゝえそれがねえ實はお金の事なんだよ』

と女が切出した金の入用身受をするには旦那の方も物入りのこと行先永く世話になるには、此方も相當の心得のある所を見せた方が信用を深める道理それ故妾宅の店出しをする資本金を立替たいと女が言出した

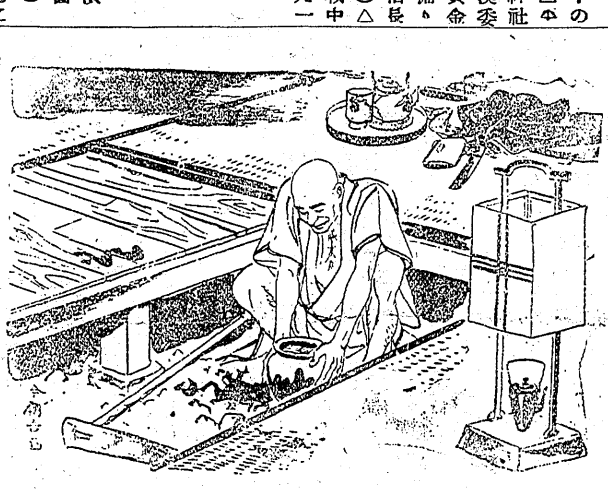
餘まり話の運びが、とん／＼と順よく行つてゐるのですつかり女のいふ事を信じ切つた了念、この女の負けぬ氣な事も知つてゐるから一時金を立替へて旦那の信用を深くしようといふ女の心持を聞いて成程と同意してしまつた。女は心配そうな顏をして

女『そういふ譯で差當りまとまつたお金が要るんだがお父さん何處かでお金の工面は出來まいか、出來るなら旦那に知らせずその工風をしておくれ』

と相談した、了念考へて見るとこの女は自分の娘になつたもの、自分はこれから父親として一生安樂に孝行をして貰ひ、死水もこの女に取つて貰ふ間柄、こゝでこの女が出世をするといふ大切な場合になつて、その金の工面もしてやれないとあつて一生大きな顏も出來ず親甲斐のない譯だとそこは以前が道樂者の苦勞人先きも考へれば察しもあり多少の娑婆つ氣はありますからジックリと考へて

了『いゝとも、お前の爲めになる事だ、何とか及ばずながら算段をして見よう』

といつたのは、乞食坊主にまとまつた金の才覺は出來る筈もないが、自分のため込んだ床下の金を役に立てようといふ腹、その心得があるから受合ふことも出來る



兎に角、今日一日待つてゐておくれと言葉を番へて原庭の我家へ歸り、そこは年よりだけにモウ一度腕を組んでヂックリと考へ直して見たが、何うしてもこゝは一時その金を立替へてやる方が後々の爲だ、女を受出さうといふ客は女に惚れてゐるには違ひないのだから妾宅を持たせ店を出した費用を女が立替ねたと云つても、アゝ左樣かねと澄してゐる氣遣はない、スグと右から左へ返して呉れるに極つてゐる謂はば一時の見せ金で、その中から一文だつて減るといふ譯ぢやアなし、此方の顏がよくなる事だから、これは金を貸してやる方がいゝと一旦そうと心に決めた事はなか／＼變がへの出來るものではありません

夜の更けるのを待ち受けた了念が四邊の寢しづまつた頃を窺ひ、そつと我家の疊をあげ床板を外し印をつけて埋めて置いた瓶を緣の下の土中から發掘しましたが掘出した跡を以前の樣にして土をかけ床板や疊を元の通りにした

瓶の中から取出したお金は二百兩足らず、これ迄に貰ひためた年數と苦心はどの位だか解りませんが了念の心中では早くこれを持つて行つて娘を喜ばしてやらうといふ念が一杯だ

株ハ一株ヨリ、債券ハ一枚カラ賣買致シマス。
友部株式店
平町三丁目　電話一七七番

旅舍　大幸館
東京上野驛前　下谷郵便局横通角
電話下谷(83)六七七番
私は平町出身ですから特に鄕里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄

廣告

高久病院
院長　高久忠
電話五一三番

松村醫院
院長　松村鐵郎
平町南町電一〇七

新築落成
……大衆奉仕を……念願とし社會中層の御相手旅館としてやよひ館の名の下に營業を開始致しました。
……眺望並に清新……の氣分に於て他に遜色なく旅の御疲れを慰むるに適當な處と存じます。
……室貸を主とし……經營致します故御食事は御自由ですがた望みに依り差上ぐる設備もあります
※茶代は勿論申受けません。
何卒御引立の程を願ひます。
平郵便局通り（電七六番）
やよひ館

開店御披露
御寫眞は是非　晝夜撮影の　宮田へ……
小生永らく東都に在つて寫眞術を研究、最新式の撮影方法を以て營業致して居りましたが此程知人の御奬めに依り歸鄕致して新築中の實家に開業致しました、何程末永く御愛顧御引立の程御願ひ致します
宮田黎明
◇開店祝として向ふ一ケ月間大破額割引！粗品進呈
◇撮影は迅速に低廉に相勉め申す可く出張撮影の際は電二四六番を御利用御用命の程を！
營業時間　自午前八時　至午後十時
平町鍛冶町二十六番地
宮田寫眞館
電話二四六（呼）

諸機械製作販賣
機械切各種齒車製作
合名會社　田邊製作所
平白銀町（驛前通）　電話二九四番

法外な日東の特賣日（ニットウ　トクバイデー）
毎月一日、十五日ヲサービスデートシテ致シマシテ
マツダランプ及ビ眞空管ヲ卸値デ差上ルコトニ致シマシタ
◆宜敷御用命ノ程願上マス◆
平二丁目　日東商會　電話四二八番
◆……用心箱御利用ノオ方ニハ年中特價單價デ差上マス……◆

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門
X光線科
平南町
上田醫院
病室完備
（電話一二九）

鮫川砂利採取及販賣
砂利……川部村沼部
砂……山田村法田
玉石……植田鮫川橋下
砂利採取揚場
貨物自動車運搬業、有價證券、株式債券賣買及仲介、商品依托販賣、千代田生命、千代田火災保險代理店
常磐線植田町
植田物産株式會社
取締役　山崎登
電話三一番
各種貨物一般及重量機械類運搬取扱
石城郡錦村中田
植田物産錦出張所
電話（植田）一三五番

精神病科
腦脊髓病科
神經病科
郡山驛より約三十丁　安積中學より約五丁
内務省指定
福島縣立代用精神病院
郡山腦病院
郡山市外大槻村針生
電話九二五番
入院隨時
院長　醫學士　金森五郎

吸入用酸素　純度99％
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
體温器
寒暖計
◎秤・ノ・諸機械類・修繕致シマス
關内藥局
電話四〇番

はねつぎ
平町公園下
桑原柔道整骨院
電話六七四
神經痛ニ
リウマチス
オレンヂパスタ

生花教授
池ノ坊
生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

月曜論壇

當路よ愼重なれ
平市制に直面して

平町の市制問題が昨日の關係兩町村會に於て其筋へ稟請の正式決定を見た事は時期の當否は姑らく措き今後最終の決定を見る迄は尚ほ若干の曲折あるにせよ重要懸案の解決と云ふ建設的大局から觀て寔に結構な事であると思ふ。而して此際兩町村の一部に於ける對蹠的の反對氣分は將來の大平市を謳美する上に於て一見呪ふべき存在として其の叛逆を排撃する向もあらうが事の成立を望むも阻むも畢竟單にその視角を異にするに止まり一片耿々たる鄕土愛に出發する點に於て全然同一の熱意を有するものである以上、將來市制實施の正式決定を見る迄は所謂實現派が多數を以て押し切らんとする横暴を敢てせず一面之に慊焉たる反對側に於ても常に滿幅の闘志を藏して時平服の陰に鐵衣を纏ふて時あつてか鏘々の干戈を交へんとするが如き態度を避け終始相互の摩擦面を少からしむるに非んば、飽くまで輯睦親和を以て進まねばならぬ自治團体として寔に拂拭すべからざる大きな禍根を永遠に貽す所以であり其の前途眞に寒心せざらんとするも能はざるものがある而も該問題が今後果してどう展開するかは一に繫つて監督當局の行政技術に存するが、矢が既に絃を放れた今日、當面の市制實施そのものが終始強靱なる自治の發展を念願し斷じて關係住民の福祉に背反せぬ見極めが附くと共に之が實現は蓋し時の問題と觀るが至當であるが、其間に於ける贊否兩者の對立は事を紛糾錯綜に導くの大なる禍因をなすに相違ひない故關係當局たるもの深く念ひを潛め極めて細心周到の考慮を拂つて其間の緩急按配を愆らず、動機として尊重すべく事業として亦組朶の譏りを受くるが如き事の無い様に千祈萬禱して世にも清新潑剌たる躍進大平市誕生の日を期待して措かぬ

平町會は滿場一致
平窪は七對四で決定
市制稟請の基礎固まる

平、平窪の合併を前提とする平市制實施稟請の平町會は昨二十一日を以て開催滿場一致決定したが、最初から一と紛糾は免れまいと豫期された平窪村では、開會前約三百の村民が議場附近に集合して喧騒を試み、議事の進行に伴れて興奮の餘窓硝子を破壞したものが現れるなど些か物々しい光景を見せて遂に四名の檢束者（說諭放還）を出した程であるが結局四對七（過般來の贊成根本丑松議員が中立に轉向）で之亦初期の決定を見た

反對の態度表明
目下の形勢險惡に
村民成行きを憂ふ

議場附近に集つた三百餘名は村會後村民大會の形式にて委員四十五名を擧げ反對の意思表示として兒童の登校休止、村農會の解散等を決議し尚は中鹽部落關係を除く消防約二百名の辭表を取り纏めるなどの事態に村民は今後の成り行きを憂慮して居る

赤井部落、編入希望

愈よ平窪との合併を決議しは平町に對し『平窪さへ合併すれば』と併合を望んでゐた赤井部落（八百戶三千（三百名）も平町に編入せんとし明二十三日草野縣議外部落代表の一行八名が平町を訪れ懇談すると

少年劍道大會
申込早くも六校

の第三回小學兒童劍道大會は既報の如く來る二十八日午前九時から平第三小學校で行はれるので目下平署で受付けてゐるが早くも（高等科）草野　夏井　好間　錦　大浦（尋常）平第三　好間の申込みあり接戰を豫想されてゐる

信澤要君（平營林署）優勝す
きのふ第三で卓球戰

平第三小學校主催第六回郡下卓球選手權大會は二十一日午前九時から同校コートに擧行、參加三十名中に二名の女子を加へ接戰の結果准決勝に
高木（農工銀行平支店）　宮內（四倉セメント）　信澤（平營林署）　吉田（平第三校）
の四君が殘り最後の熱戰を展開して結局信澤要君が優勝、優勝旗並にカップを獲得した

△准決勝
高木3―1宮內
信澤3―0吉田
△決勝
信澤要3―1高木直一

合格者五十八名
海軍兵檢查終る

本縣のトップを切つて十八日から三日間行はれた郡下の海軍志願兵檢查は受驗人員二百三十七名中合格者は五十八名（前年度は二百十九名中合格者三十四名）で合格率は四割八分二厘に達し非常な好成績を收めた、うち憧がれの的となつてゐる平町を除く少年航空兵の合格者は
泉村中野田弘明　瀧田作榮　錦村金成德　星竹夫　勿來町根本源久郎　渡邊芳　川前村樫村廣　夏井村芳賀竹夫　大野村紺來義明　神谷村鈴木友一

佑賢から六名

磐城佑賢學舍では合格者左記六君を出した
水兵村田敏　同山崎武　掌電兵眞壁武治　航空兵鈴木友一　同志賀竹夫　海軍工廠金成則彥

平町で四名

平町からは二十一名受檢したが合格は左記四君である
（航空兵）仲間町眞壁武治　禰宜町竹村彌實　才槌小路塚本慶治
（電信兵）鎌田町鹿島康宏

米穀自治管理總代當選

米穀自治管理法の實施による縣下代行組合の總代十五名の選擧は二十一日福島市縣購聯で行つた結果郡下よりは玉川村駒木根忠三、大浦村木村清治の兩氏當選

中寺を皮切りに
二才駒糶賣日割
早くも前人氣よし

郡下に於ける今年中の二才駒糶賣日割は左の如く決定した、昨年の平均値は六十三圓四十六錢で前年の六十九圓七十五錢に比し幾分安値であつたが、今年は目下の處から押して相當よい値を示すものと見られてゐる
△中寺（頭數二六〇）三月三十日―四月三日　△上遠野（一八二）四月五日―八日　△黑田（一三二）四月十日―同十二日　△桶賣（一二四）七月四日―同六日　△上小川（三〇）七月九日

四倉政友部會長詮衡
推擧の門馬氏固辭

四倉町政友部會長大和田安太郎氏の死去により其後任部會長を決定す可く一昨二十日午後七時より海氣館に於て役員會を開催し門馬倉次郎氏に決定昨二十一日會代表豊田美孝氏外三名が同氏に會長就任方を懇請したが同氏の受くる處とならず役員會は第二段の策を取る事となつた

方面事業委員任命。。。。。　平町古鍛冶町山崎清三氏は本縣方面事業委員に任命され來月下旬開かれる第一回委員會に出席の筈

看護婦と產婆の試驗
平署で願書受付

本年度第一回產婆看護婦試驗は福島公會堂で產婆學說四月十三日同實地同月二十七日より看護婦學說同月十四日同實地同十五日よりの日程により行はれるので平署でも目下來月末迄の願書締切を前にして管下受驗者の受付を行つてゐる

四倉豫算町會。。。。。　四倉町では來る二十三日より十二年度豫算町會を開くが新規事業無く總額四萬七千圓であると

映畫祐天上人完成
來月二日世界館で封切り

平町高木喬氏年來の事業であつた映畫『祐天上人』は此程愈々完成、去る十九日內務省の檢閱を經來月二日の舊二十日正月を期し平町世界館で封切り上映する事となつたが全篇五巻、之に最新高級映畫を加へ華々しくデヴユーすると

五反歩燒く
昨日高久の山火事
焚火の不始末

高久村上山口字內田地內山林（鈴木政司外二名所有）から二十一日午前十時頃發火約五反歩を燒いて晝近く鎭火した、原因同村下高久字上谷作鈴木小太郎（七七）が焚火の不始末損害二十餘圓

藁ボツチ燒く

二十一日午後二時頃平窪村中平窪農大須賀庄之助（六二）方藁ボツチから發火約二十束を燒いて鎭火した、原因は子供の弄火、損害二十圓、平町から自動車ポンプ出動して一時は大騷ぎであつた

徵兵檢查日割決定
五尺足らずの小男でも
大威張りで甲種合格

本郡下十二年度の徵兵檢査は昨年同樣平、植田の二ヶ所で行はれる事となり此程福島聯隊區から△四月二十八日から十日間平第一校講堂△五月十日より三日間植田小學校の檢查日割（徵募官佐藤要大佐）が發表された

徵兵檢査規則が改正され從來は身長一米五十五以上でなければ甲種合格とならなかつたが近時壯丁の身長縮少の傾向から陸軍當局ではこれを五糎下げ一米五十（四尺九寸五分）から甲種とすると云ふので此の改正規則を渴望してゐた小男の歡喜を中心に徵兵檢查が行はれるわけだ

第一炭礦操業復活

種々な都合の下に過般來休業中であつた第一炭礦上山田礦業所では各關係商人の支拂ひも完了したので益々內容を充實し從業員を選擇の上近日中從前通り操業を開始すると

天氣豫報（小名濱測候所觀測）

今晩は北東の風曇後雨
明日は北東の風雨

丹毒豫防注射。。。。　平町の豚の丹毒豫防注射は來る二十二日から三日間に亘つて行ふので町役場では二日町內關係者に通知した

ロハ飲義公

去る二日市の日に迷子の赤ちやんを拾つた元平町三丁目グリルバッカス方コック大和田義光クン、昨夜五丁目料理屋吉田屋方でいゝ機嫌になつたのを皮切りにカフエー一の井、越の家等でロハ酒をあほつてくだ卷いたのでそのまゝ平署に突き出された

辷つて大怪我
連結手哀れ絶命

湯本町關場湯本驛連結手高野智向（三〇）は二十二日午前零時頃同驛構內で入替作業中足をすべらして貨車に胸部を强打肋骨を折り直に入山病院に昇ぎ込んだが間もなく絶命した

持ち込れた俵米の山
相場は若干上向き？
けふ定期共販開く

石城販聯の俵米定期共販は延期されて今二十二日午後から行はれたが出荷は依然多く千二百五十七俵、相場は東京相場の好轉から前回より幾分よいものと見られる
平一號一八〇　同二號一二六、三號一〇〇　四號一六〇五號一六〇　小川五三　草野六三　大野九三　同モチ三　渡邊六四　飯野一號一三三　同二號一四　神谷五〇　勿來二八　高久三〇

滿洲農業移民團
愈よあす鹿島立ち

本縣の第五次滿洲移民團四十名は愈よ明二十三日樂土建設の使命を帶び新潟港出帆の新高丸で渡滿の途につくので昨二十一日縣青年館でこれが歡送會を開いた。本郡から上遠野村本田寬、赤井村若松修平の兩君が加はつて雄々しく壯途に上る筈である

平＝市たりなば
主務大臣への直參其他
變つて來る構成の概要

―市會の議事は原則として公開され、議員定數の半分以上の出席を要する。次に市會の職務權限の主なるものは、議決機關として有するもの丶外爭議を裁判し選擧をなし、市の事務及び出納の監督をなし併せて諮問機關たるに在る、卽ち1市に關する事件及び法律勅令により市の權限に屬する事件を議決し（議決權）2選擧又は當選の效力に異議ある時及び法律勅令に依り市會にて行ふ選擧の投票の效力に關し異議ある時之を決定し（爭議決定權）3市長、市參與、收入役、委員其他法律勅令に依り其の權限に屬する選擧を行ひ（選擧をなすの權）4市の事務に屬する書類及び計算書を檢閱し市長の報告を請求して事務の管理議決の執行及び出納を檢査し市の公益に關する事件に付意見書に關係ある行政廳に提出し、其行政廳の諮問に應じ意見を答申する（意見提出及び諮問答申の權）

市參事會

市參事會は市の副議決機關であつて議長及び名譽職參事會員を以て組織する。議長は市長が勤め、名譽職參事會員は其議員中より選擧し定數は十人とする。但し勅令を以て指定する市に於ては市條例を以てこの定數を十五人迄に增加する事が出來る。名譽職參事會員は隔年之を選擧する、市參事會の權限は1市會の權限に屬する事件でその委任を受けたものを議決すること　2市會成立せざる時又は市長市會を招集する暇なしと認めたるとき市會の權限に屬する事件を市會に代つて議決すること　3市の給料又は給與に就き關係者の異議の決定　4市の公益に關して行政廳へ意見書の提出竝に行政廳の諮問の答申其他法令に依り市參事會の權限に屬する事件。市參事會は市長之を招集し議長及び名譽職參事會員定數の半數以上出席せねば開き得ぬ。會議は傍聽を許さず議事は過半數を以て決する、可否同數なるときは議長の決する處による

三阪澤渡豫算審議

三阪澤渡組合村では二十四日十二年度豫算村會を開くが今年度と大差ない、尙二十五日は三阪、翌二十六日は澤渡の新豫算を審議

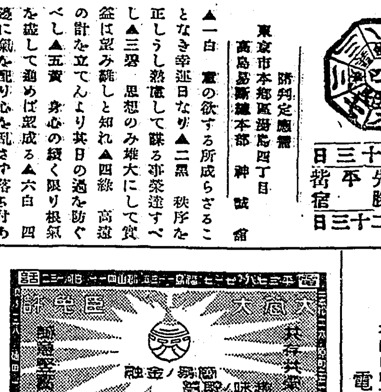
二十三日（小名濱測候所發表）
滿潮　前一〇、一〇　後二二、二〇
干潮　前九、〇五　後九、五〇

新二月二十三日　火曜　辛巳　先勝　平　觜宿　舊一月十三日

諸判定處鬻　東京市本鄕區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠會
▲一白　意の欲する所成らざることなき幸運日なり▲二黑　秩序を正しうし熟慮して謀る事榮達すべし▲三碧　思想のみ雄大にして實益は望み難しと知れ▲四綠　高遠の計を立てんより其日の過ちを防ぐべし▲五黃　身心の續く限り根氣を盡して進めば成る▲六白　四邊に氣を配り心を亂さず落ち付けば吉▲七赤　萬事有利に展開する日金談旅行移轉吉▲八白　人の世話を受け前途有望の緖に就くべき日▲九紫　ちみつの思慮も何時しか放まんに流れ易き日

廣告

酒とマヅイ
おでんの榮ちやん
平町田町花ノ里
電話三三三番



安齋外科醫院
平町田町
電四七五番

向上の若人は佑賢に學べ
生徒募集
◎中等科（二年制）百五十名　補欠若干名
▲目的―中堅公民養成
◎專修科（一年制）百名
▲目的―各種受驗難關突破
◈本年度より
○女子部獨立　女生五十名
○商業、簿記科新設
○受驗相互研究會特設
○敎授陣の擴充
◇各科無試驗入學許可
磐城佑賢學舍　平町城山　電話九三

開業……
大衆食堂
是非御利用下さい。幾分御便宜かと存じます。
晝食に、晚餐に、御來店を！
家庭食
カレーライス　お新香・お吸物付……25
ハヤシライス　お新香・お吸物付……30
チキンライス　お新香・お吸物付……30
カツライス　お新香・お吸物付……35
親子丼　お新香・お吸物付……25
特なべ料理　お新香……30
京樂ランチ……50
大衆食堂京樂

開店おひろめ
新田町の一角に春の陽ざしを受けてポッチりとリラの花が咲きました。未だ小さな可憐な花です。どうぞ皆様のお力で育てゝ下さいませ。
洋酒各種　日本酒　喫茶
二月十一日開店
お勤めの御歸りに、お買物の御序に、お散歩のかたはらに、是非御立寄り願ひます。
茶房リラ　平町・新田町